

令和2年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 伊 藤 一 榮

市 民 ク ラ ブ 見 上 万 里 子

フロンティア秋田 後 藤 良

共 産 党 佐 藤 広 久

公 明 党 成 沢 淳 子

秋 水 会 伊 藤 巧 一

秋 水 会 菅 原 琢 哉

秋 水 会 渡 辺 正 宏



1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による主要施策の成果への影響等について

- (1) 新・県都『あきた』成長プラン、同推進計画及び秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における当初の目標に対し、現時点においてどの程度の影響があるのか、また、市はその成果への影響についてどのように認識しているのか
- (2) 影響を受ける本市の事業数はどのくらいと想定しているのか、また、その影響額はどのくらいと見込んでいるのか

2 新型コロナウイルス感染症対策等について

- (1) 感染拡大による経済及び雇用への影響について
  - ア 本市の経済情勢の現状及び今後の見通しはどうか、また、市としてどのように認識しているのか
  - イ 本市の雇用情勢の現状及び今後の見通しはどうか、また、その課題と対応策等についてどのように考えているのか
- (2) 国の緊急経済対策及び県の経済支援制度等について
  - ア 本市の利用状況及び課題について、どのように認識しているのか
  - イ 収入減少世帯に対する「生活福祉資金特例貸付」の職業別利用状況はどうか、また、その課題は何か
- (3) 本市の医療体制等について
  - ア 衛生資材及び医療体制の現状はどうか、また、今後の対応についてどのように考えているのか
  - イ 医療機関における院内感染対策はどのようになっているのか
  - ウ 本市において、医療崩壊の起こり得る可能性はあるのか
  - エ 検査体制の現状と課題について、どのように認識しているのか
  - オ 軽症者・無症状者の療養体制はどのようになっているのか
- (4) 市立小中学校の一斉休校時の指導及び対策等について
  - ア 春休みを含む2カ月間にも及ぶ休校期間中、保護者や児童生徒の

さまざまな不安や精神的疲労を和らげるため、学習指導や子供の日常生活への助言など、どのように対応してきたのか

イ 学習のおくれを取り戻すための今後の学習計画をどのように考えているのか

ウ 児童生徒の心をはぐくむ学校行事等は可能な限り実施すべきと思うがどうか

エ 各種大会等の中止に伴う児童生徒への心のケアは適切に行っているのか、また、代替となる大会を本市で独自に開催する考えはないか

オ 暑さ対策として、普通教室にエアコンを設置すべきと思うがどうか

(5) 災害発生時の避難所の運営について

ア 避難所ごとの避難者数を減らすため、市内の指定避難所をふやす考えはないか、また、感染防止を踏まえた避難所運営について、どのように考えているのか

3 イービス・アショアについて

(1) 市長はこれまでの防衛省の動向をどのように認識しているのか、また、河野防衛大臣の現地視察及び再調査報告の時期について、いつごろと見込んでいるのか

(2) 配備候補地の最終決定は再調査結果によると考えられるが、市長は現在も自信を持って陸上自衛隊新屋演習場は除外されるものと考えているのか

(3) 令和2年2月定例会における新屋演習場への配備計画撤回に関する本市議会の決議について、市長の考えはどうか

(4) 新屋演習場以外の県内の国有地に配備が決定された場合、市長の考えはどうか

4 次期総合都市計画及び新スタジアムの整備について

(1) 次期総合都市計画策定の進捗状況はどうか、また、同計画に関連す

る施策等の今後のスケジュールはどうか

- (2) 新スタジアム整備に向けた諸課題の調査・研究についての最終報告の中で、外旭川地区を候補地の一つとして明記しているが、その理由は何か、また、ほかに候補地を選定する可能性はあるのか、さらに、最終的なスタジアムの建設地の選定はいつごろになるのか
- (3) 新スタジアムの整備計画は、今後検討される卸売市場の再編計画と関連して考えるのか
- (4) 2025年までに新スタジアム整備を実現するための課題は何か、また、その実現の可能性はどのくらいあると考えているのか

## 5 秋田市南カントリーエレベーターの整備について

- (1) 国の強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業が不採択となった理由について、どう認識しているか
- (2) 今後の対応及び課題についてどのように考えているのか

## 6 本市の除排雪業者への支援及び古川流域の治水対策について

- (1) 昨冬の少雪に伴い、本市の除排雪業者に対しての支援はどうなっているのか、また、今後同様に少雪だった場合、支援を拡充する考えはないか
- (2) 古川流域の治水対策事業では、床上浸水被害の解消を目標としているが、道路冠水、床下浸水への対策はどのようになっているのか

## 7 環境施策について

- (1) 地域振興基金に積み立てている家庭ごみ処理手数料相当額について、一般廃棄物処理施設整備基金へ移管するとしているが、これまでの進捗状況はどうか
- (2) 家庭ごみ減量等対策を充実させるため、新たな施策の展開を図るべきではないか



## 1 新型コロナウイルス感染症への対応について

- (1) 本市経済活動への影響を把握するため、市内事業者に対してインターネット等でアンケート調査を行い、今後の対応の参考としてはどうか
- (2) 庁内におけるタブレット端末の活用を推進するとともに、市職員のテレワークの実施について検討してはどうか
- (3) ごみ収集における感染対策をどのように実施しているのか
- (4) テークアウトが推奨されていることから、持ち帰り容器などプラスチックごみを資源化物用指定ごみ袋により収集することを認めてはどうか
- (5) 感染症対策の観点からも、国の保育体制強化事業を活用し、遊具の消毒など保育に係る周辺業務を行う保育支援者の配置を市としても支援してはどうか
- (6) 生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度における対応について
  - ア 両制度の相談件数及び申請件数の実績はどのくらいふえているのか、また、今後の見込みはどうか
  - イ 在宅でも両制度の詳細を知ることが可能になることにより、来所の手間や対面相談による接触機会を減らすよう、ホームページのさらなる充実を図るべきではないか
- (7) 市立図書館に市民が利用できる図書消毒器を設置してはどうか
- (8) 教育における対応について
  - ア 9月入学の議論に対する教育長の考えはどうか
  - イ 学校再開後における授業時間数の確保と各種行事の中止について、どのような方針で臨むのか
  - ウ 小中学校における感染症対策をどのように実施しているのか
  - エ 夏休みを短縮して行う授業における暑さ対策をどのように実施するのか
  - オ 県立高等学校において冷房の設置が計画されているが、市立高等

学校等でも設置するべきではないか

カ 遠隔授業への関心が高まっているが、市立小中高等学校等の児童生徒の各家庭におけるインターネット接続環境は把握しているのか

## 2 アフターコロナにおけるまちづくりについて

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を見きわめるため、次期総合計画などの策定を延期したが、アフターコロナの新たな生活に配慮したまちづくりについてどのように考えていくのか

(2) 秋田駅西口駅前広場を今後どのように活用していくのか

(3) 外旭川地区の複合施設建設構想などが提案されているが、今後の市としての考えはどうか

(4) 新スタジアムの整備候補地を、交通利便性の高い秋田中央インターチェンジと秋田駅東口が活用できる場所としてはどうか

(5) コンパクトシティの考え方に影響はあるのか

## 3 アフターコロナにおける市役所庁舎等の活用について

(1) 市民ホールや2階テラスなどを利用した地元産品応援セール等を後押しするため、新たに展示ラック等を準備してはどうか

(2) ドライブインシアターなどが開催できるよう市役所駐車場をイベントに開放してはどうか

## 4 声の広報あきたについて

(1) 声の広報あきたの対象を視覚障がい者だけではなく、高齢者にも広げてはどうか

## 5 地域包括支援センターについて

(1) 今後介護サービスの需要がさらにふえると考えられることから、地域包括支援センターで民生委員及び近隣住民からの情報提供を受け入れていることを積極的に周知するべきではないか

(2) 地域包括支援センターの担当地区は一部エリアが学区と異なるため、

高齢者の見守り活動等に不便が生じているとの声があるが、担当地区はどのように決められているのか、また、そのような現状をどう受けとめているのか

- 6 イージス・アショアの陸上自衛隊新屋演習場への配備計画について
- (1) 防衛省は、山口県萩市の陸上自衛隊むつみ演習場への配備計画において、同市に施設が運用上必要とする給水量を提示したと報道されているが、本市においても同様の提示はされているのか



## 1 災害等への対応について

## (1) 避難誘導等について

- ア 災害時の外国人の避難誘導について、本市における課題は何か、また、迅速かつ適切に行うため、どのように取り組んでいるのか
- イ 避難したいが移動手段を持たない市民に対して、避難所までの誘導はだれがどのように行っているのか
- ウ 避難勧告や避難指示等が発令された際に、正常性バイアスに陥らないよう、地域で開催する避難訓練等で啓発すべきと思うがどうか
- エ 防災意識を高めるために、無料防災アプリの周知を検討してはどうか

## (2) 避難所について

- ア コロナ禍の状況において、空調（冷房）設備が設置されていない学校施設が避難所となった場合、熱中症対策をどのように行うのか
- イ 災害に強いと言われるGHP（ガスヒートポンプ）式冷暖房機の避難所への導入状況はどうか、また、今後導入していく考えはないか
- ウ 避難所での新型コロナウイルス感染症などへの対策について、テントなどを準備しているようであるが、市内すべての避難所で十分な対策は図られるのか
- エ アレルギーを持っている子供向けの非常食の備蓄は行われているのか

## 2 ハラスメント等について

## (1) 本市職員に対するハラスメント対応について

- ア 昨年度、職員に対して「ハラスメントに関する職員アンケート」を実施しているが、その結果を受けて、職員のハラスメントの現状をどのように認識しているのか
- イ 実際にハラスメントの処分認定はどのように行うのか

ウ ハラスメントのない職場環境づくりを進めるべきと思うが、今後どのように対応していくのか

エ ハラスメント対策室の設置の必要性について、どのように考えているのか

(2) 誹謗・中傷への対応について

ア 国では、インターネット上で匿名による誹謗・中傷を受けた際に、投稿者を特定しやすくするための制度改正を進めているところであるが、本市においても、インターネット上の誹謗・中傷などの被害への対策を検討してはどうか

3 新型コロナウイルス感染症への対応について

(1) 同感染症に係る情報は、できるだけ早く市民に周知するべきであることから、秋田市公式のユーチューブチャンネルを活用し、市の会見などを生中継する考えはないか

(2) 市立小学校の休校時における対応について

ア これまで児童館の活用を図ってきたが、今後はより多くの児童にも対応できるよう、空き教室を利用するなど活用策の検討が必要と思うがどうか

イ 放課後児童クラブの利用について、定員増が密な状況をつくっていたともとらえられるが、その状況をどのように分析し、今後、どのように対応するのか

4 教育について

(1) 小中学校におけるICT教育について

ア タブレット端末機を活用した授業について、その具体を検討しているのか

イ インターネットには検証されていないさまざまな情報があふれており、情報機器の使い方のみならず、情報を読み解き活用する情報リテラシーが求められるが、現状の取り組みはどうか、また、タブレット端末機の配付に合わせて、今後、どのように取り組んでいく

のか

(2) 小中学校のいじめ防止について

ア いじめを防止するため、小中学校において、いじめは犯罪にもなり得ることなど、道徳に加えてその年代に応じた法律的な知識も教えるべきではないか

(3) 小中学校における熱中症対策について

ア 本市が考える熱中症対策とは具体的に何か、また、平常時とコロナ禍の状況における対策に違いはあるのか

イ 児童生徒が自主的に用意した保冷剤や携帯扇風機などの使用を認める考えはあるのか

5 公園施設の充実について

(1) 太平山リゾート公園について

ア 同公園内の主要施設に公衆無線LANを整備してはどうか

イ 近年、ソロキャンプやおしゃれなキャンプなどを楽しむ方がふえているが、トレーラーハウスやキャンプ施設の利用者層に変化はあるのか、また、グランピング施設の設置など利用者層に合わせた今後の利用促進などについて、どのように考えているのか

(2) 千秋公園について

ア アジアトライAKITA・千秋芸術祭の際に主催者によって設置されているステージは、ロケーションも大変よく、さまざまなイベントや日常的な市民の活用も考えられることから、本市として、同様のステージを常設する考えはないか

6 市民活動について

(1) 貧困対策など公共的な活動を行っている市民団体等への支援の現状はどうか、また、運営の継続に不安を抱えている団体等もあることから、安定した運営を支援する手だては検討できないのか

(2) アルヴェで行っているきらめきパフォーマーは、アルヴェのにぎわい創出に寄与することを目的としたもので、現在登録は100団体を超

えているが、きらめきパフォーマーの効果及び課題をどのようにとらえているのか、また、パフォーマーが活動しやすいようどのような工夫を行っているのか

## 7 バイオマス燃料について

- (1) 固形燃料モミガライトは、廃棄物処理されるもみ殻を燃料として使用することができ、かつ環境に優しい燃料であることから、その燃料の普及促進を図るため、その製造機の導入費用を助成する考えはないか

1 新型コロナウイルス感染症に関連した対応について

(1) 危機管理について

ア 市長は、感染症拡大防止と市民の命と暮らしを守るために、その時々政治判断と対策が求められてきたが、みずからの評価と現状をどうとらえているのか

イ 専門家からは第2波、第3波の感染症拡大が懸念されているが、今後の対策にどのような決意を持って臨もうと考えているのか

ウ 市庁舎内で感染症が発生し拡大するおそれがある場合を想定し、行政機能を維持するためにどのような検討を行っているのか、また、全職員への危機管理方針は徹底されているのか

(2) 災害時の対応について

ア 避難所における感染症拡大防止のため、一定のスペースを確保する上で従来の収容定員の見直しと地域ごとの新たな避難所の確保は検討されているのか

イ 従来の地域防災計画を見直し、避難所における感染対策の備蓄品として、マスク等の衛生用品、段ボールベッド、間仕切りテントなどを大幅にふやすべきではないか

(3) 市民の健康と安全のために

ア 保健所での職員増員を図り感染症への対応に努めてきたが、再度、本市において感染症患者が発生した場合を想定し、さらなる増員のため人員配置計画を策定すべきではないか

イ 市民が体調に異常を感じた場合を想定し、受診した医療機関でPCR検査をいち早く受けられるよう、市内医療機関と連携し帰国者・接触者外来をふやすなど、受診した医療機関での検査体制を強化すべきではないか

ウ 第2波、第3波に備えた医療体制の構築をどのように考えているのか

(4) 市民の暮らしと地域経済への支援について

- ア 特別定額給付金について、特別な事情のある市民の把握と対応はどうか、また、感染症拡大防止協力金や地域産業支援金について、すべての対象者に給付するための手だてはどのように行っているのか
  - イ 地域経済への影響について、本市が独自に地元企業及び自営業者の経営状況を調査し、その結果をもとに地域経済を守るための施策を講じるべきではないか
  - ウ 地域経済と家計への影響が長引くと予想される中、本市の中長期の支援策を市民に示すべきではないか
  - エ 国に対し、市民生活と自営業者への支援策の財源として、自治体の裁量で活用できる交付金の増額を強く求め、本市独自の支援策に活用すべきではないか
- (5) 市民の相談窓口と対応について
- ア 新型コロナウイルス対策室には、市民から多様な相談が多数寄せられているが、的確な対応と事務作業を円滑に進めるため、さらに職員をふやすべきではないか
  - イ 国が進める持続化給付金は電子申請のみで、電子申請にふなれな小規模事業者や高齢事業者が困惑しているが、本市として申請を支援する窓口を設ける考えはないか
  - ウ 事業の休業、廃業、倒産や雇いどめ、解雇など、多岐にわたる生活相談に対応する窓口の一元化を図るべきではないか
- (6) 生活保護について、相談者の増加が予想されることから、申請の意思を確認した上、厚生労働省から、令和2年4月7日付で発出された新型コロナウイルス感染防止等のための生活保護業務等における対応についての事務連絡に基づいた審査を行い、一日も早く支給につなげるべきではないか
- (7) 秋田公立美術大学の学生のため、本市独自の生活支援給付金の支給などで学生生活を支援する考えはないか
- (8) 市立小中学校における児童生徒の健康管理と感染予防について
- ア 夏に向けて猛暑対策が必要となることから、早急にすべての教室

にエアコン設置を進める決断をすべきではないか

イ エアコンのない状況での児童生徒の健康管理をどのように考えているのか

ウ 学習スケジュールのおくれを取り戻すために、夏休みを短縮して授業を行うとのことだが、授業に際しては教職員と児童生徒の心身に過度の負担がかからないよう十分な対策をとるべきではないか

エ 感染防止として三密を回避するために、空き教室などを活用し教室の児童生徒数を最高20人程度の少人数に分散して授業を行う考えはないか

(9) 学校給食費において、就学援助を受給する保護者に対し、休校期間中の給食費相当分を支援する考えはないか

## 2 新スタジアム整備について

(1) 整備については、民間当事者が事業主体であるべきで、自治体は支援する立場と考えるが、市長の見解はどうか

(2) 新たな候補地として、令和2年度に策定する総合都市計画と整合を図りながら選定するとしているが、本市が主導して選定する理由はあるのか

(3) コロナ禍による経済状況の悪化のもと、現時点での協議や調査・検討、候補地選定作業を凍結し、市民の暮らし、経済支援に力を注ぐべきではないか

## 3 町内会活動について

(1) 町内会は、行政を支える住民自治の基本組織であるが、市としてどのように位置づけているのか

(2) 町内会は、高齢化や人口減少によりその機能を果たせなくなっているが、状況の把握と対策はどのようになっているのか

## 4 地域の課題について

(1) 広面谷内佐渡地区の浸水被害対策として、工事の計画と実施について

てどのような検討がなされ、具体化を図ろうとしているのか

1 新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応について

(1) 全国知事会による国への提言について

ア 全国知事会が、同感染症の拡大防止などの観点から東京一極集中の是正を求めることについて、市長はどのように受けとめているのか

(2) 検査体制の整備及び強化について

ア これまでの感染状況を踏まえた検査体制の現状はどうか、また、第2波の発生を見据え、検査体制の充実を図るべきと考えるがどうか

イ 同感染症の疑いがある患者または罹患した患者の搬送は、同感染症に対応した車両が出動しているが、今後、搬送が増加した場合の出動体制はどうか

ウ 県は、軽症・無症状の感染者を受け入れる宿泊施設を確保しているが、本市でも独自に確保する考えはないか

(3) 介護施設・事業所における感染防止対策等について

ア 同施設等の職員が安全に業務に従事するために必要なマスクや消毒液などの衛生物資を市はどのくらい確保しているのか、また、同施設等に優先的に衛生物資が配給されるよう関係機関に要望するべきと考えるがどうか

イ 本市では、同施設等に対し、感染防止対策マニュアルの整備に向けた指導をどのように行っているのか

ウ 国が介護従事者等に慰労金を支給することに加えて、本市独自の支援策を検討する考えはないか

エ 発熱などの症状がある入所・通所者並びに感染の疑いがある施設職員及び介助者が、優先的にPCR検査を受けられるよう関係機関に要望するべきと考えるがどうか

(4) 高齢者への対応について

ア 地域包括支援センター、地区民生児童委員協議会及び町内会など

で把握している高齢者の情報を市で集約した上で、孤立化や持病の悪化を防ぐための対応を行うべきと考えるがどうか

(5) 特別定額給付金の申請及び給付状況等について

ア 同給付金における現在の申請及び給付の進捗状況はどうか、また、今後、申請期限直前に申請していない世帯に対し、どのように周知するのか

イ 同給付金を各市民サービスセンターで受け取れる体制を整備するべきと考えるがどうか

(6) 経済対策について

ア 感染拡大による経営への影響調査を実施し、実態に即した対策を検討するべきと考えるがどうか

イ 市内の消費喚起を図るための取り組みを今後どのように行うのか

ウ 中小企業や個人事業主が事業を続けられるよう、本市独自に家賃などの固定費の負担を軽減するための支援策を検討するべきと考えるがどうか

(7) 支援体制等の充実について

ア 事業者に対する支援は、業種によって支援策が異なり、また、所管も市や国等と異なっておりわかりにくいことから、本市独自で情報を集約し、わかりやすい周知を行うべきと考えるがどうか

イ 生活困窮者自立支援制度の一つとして実施されている住宅確保給付金支給事業の支給対象が拡大されたが、現在の申請状況はどうか、また、同事業の周知を積極的に行うべきと考えるがどうか

ウ 経済活動の本格的な再開が見通せないことから、市民のさまざまな相談事に対応するための専用窓口を本庁舎などに設置するべきと考えるがどうか

(8) 災害対策について

ア 防災ラジオについて

(ア) 緊急告知ラジオの普及をさらに進めるため、高齢者にも貸し出しを行うべきと考えるがどうか

イ 指定避難所の感染症対策について

(ア) 指定避難所ごとに、同感染症を予防するために必要な間仕切りテントなどの配備はどの程度進んでいるのか

(イ) 指定避難所における避難者1人当たりの面積が従来よりも必要となった場合には、新たな指定避難所の確保などについて、どのように対応するのか、また、市有施設が確保できない場合を想定し、ホテルや旅館など民間施設の活用も検討するべきと考えるがどうか

(ウ) 体調不良の方や感染の疑いがある方をいち早く見つけるためにも、避難者の体調管理について、医師や看護師等による指定避難所の小まめな巡回が必要と考えるがどうか

(エ) 職員や医療従事者が避難者の感染症対策等を迅速に行うことができるよう、秋田市地域防災計画だけでなく、避難所運営マニュアルの見直しを行うべきと考えるがどうか

(9) 学校現場における対策について

ア 児童生徒の心のケアについて

(ア) 休校によるストレスで学校生活に不安を抱えている児童生徒へのサポートは、どのように行っているのか

(イ) 心の健康診断などのアンケートを実施することにより、ストレスによる健康リスクが高い児童生徒のサインを早い段階で把握し、学級担任やスクールカウンセラーなどが連携して心のケアを行う体制を整備するべきと考えるがどうか

イ 暑さ対策について

(ア) 夏休みの短縮により、夏場の登校がふえることから、今後、教室の暑さ対策をどのように行うのか

ウ 学校行事の実施について

(ア) 今後、本市として統一的な方針を定めるのか、または、各学校に判断をゆだねるのか

エ 児童生徒へのタブレット端末機の配付について

(ア) 他都市でも同様に今年度中のタブレット端末機の配付を目指すことが想定されるが、本市ではすべての児童生徒に必要なタブレ

ット端末機の調達は可能なのか

(イ) タブレット端末機を活用してどのような授業を行うのか

(ウ) タブレット端末機を活用した家庭学習を検討するべきと考えるがどうか、また、インターネット接続環境にない家庭に対し、家庭用モバイルWi-Fiルーターの貸し出しなどを行う考えはないか

オ 放課後児童クラブの受け入れについて

(ア) 今後、再び休校の事態に直面した場合を想定し、同クラブにおける感染症対策の状況を市で把握するべきと考えるがどうか、また、今後、三密回避に向けてどのような指導や支援を行っていくのか

(10) 妊婦への対応について

ア 妊婦がそれぞれの状況に合わせて自由に活用できるよう、給付金の支給など、本市独自の支援策を検討するべきと思うがどうか

イ 県が行う妊婦へのPCR検査の対象には、里帰り出産の妊婦及び一緒に帰省した子供も含まれているが、同検査を勧奨する観点から、本市ではその対象者の把握及び対象者への情報発信を行うべきと考えるがどうか

ウ 他都市では、里帰り出産の受け入れ拒否などの事案が発生しているが、本市でも同様の事例はあったのか、また、本市では、里帰り出産を希望する妊婦が安心して出産できる環境は整備されているのか

(11) 「新しい生活様式」の実践に向けた本市の取り組みについて

ア 他都市では、市民理解と協力を促すために、動画やポスターを作成するなど、工夫を凝らしているが、本市においても、同様の取り組みを行う考えはないか

(12) 公共施設利用ガイドラインの策定について

ア 本市においても、公共施設利用ガイドラインを策定し、市民及び利用者に協力を呼びかけるべきと考えるがどうか

(13) 本庁舎等における窓口の感染防止対策について

ア 窓口での感染防止対策をどのように行っているのか、また、今後も感染防止対策を続けていく上での課題について、どのように認識しているのか

イ 窓口の混雑解消に向け、「電子申請・届出サービス」のさらなる充実が必要と考えるが、これまでどのような検討を行ってきたのか

(14) 職員の執務環境について

ア 新庁舎では、各課所室の間に間仕切りを設けず、オープンプラで業務を行っているが、コミュニケーションがとりやすくなった一方で、狭隘により職員の感染リスクが高まったと考えるがどうか

イ 今後も感染症対策の継続が見込まれることから、本庁舎の執務スペースの見直しを行うべきと考えるがどうか

(15) 家庭系ごみの収集運搬及び処分時における感染症対策について

ア 感染症対策のため、家庭におけるごみの捨て方をさらに市民に周知するべきと考えるがどうか

イ 家庭系ごみを収集運搬する作業員及び総合環境センターの職員が業務で使用するためのマスクや防護具等は、本市で十分に確保しているのか

ウ 作業員等に感染が判明した場合における業務の継続に支障を来さないための対策を講じているのか

2 まちづくりについて

(1) 秋田市立地適正化計画に対する市民理解について

ア 同計画は、本市のまちづくりに対する基本的な考え方を示すものであることから、地域づくり協議会や市民を対象とした研修会等を実施するべきと考えるがどうか

(2) 公共交通について

ア 本市では、マイタウン・バスの運行により地域住民の移動手段の確保を図っているが、毎年多額の経常欠損額が生じていることから、地域住民の意向に沿った運行経路であると考えているのか

イ 第2次秋田市総合交通戦略に基づいて施策を実施し、その達成度

を毎年評価しているが、次期戦略を策定するに当たり、外部専門家による客観的な視点でこれまでの施策の評価を行うべきと考えるがどうか

ウ まちづくりと一体となった持続可能な公共交通網を実現するため、今後、総合都市計画策定の時期に合わせて、既存の公共交通網の見直しなども含めた総合交通戦略の抜本的な見直しを行うべきと考えるがどうか

(3) 新スタジアム整備及び秋田市卸売市場の再編について

ア 現時点で基本条件となる2万平方メートル以上の面積や形状、交通アクセス、周辺環境及び法的規制等の条件を満たす候補地は考えているのか

イ 新スタジアム整備及び秋田市卸売市場再編を一体的に取り組むため、本市が主体となって県、市、民間事業者から成るプロジェクトチームを立ち上げて検討を行うべきと考えるがどうか

1 特別定額給付金について

- (1) 新型コロナウイルス対策室の人員は十分に確保されているのか
- (2) 相談窓口として秋田市緊急経済対策コールセンターを設置したことによる効果及び課題はどうか
- (3) 同給付金の手続を行う中で生じた課題とその対応はどうか、また、お年寄りや障がいのある方へのきめ細やかな配慮や適切な対応は行われているのか
- (4) 市長は、同給付金の手続に関する市民からの評価をどのようにとらえているのか

2 秋田県産米について

- (1) 誕生してから35年以上経過しているあきたこまちの食味や価格などの評価を本市としてどのようにとらえているのか、また、今後、あきたこまちに係る戦略をどのように展開していくのか
- (2) 新品種秋系821について
  - ア 名称の応募が国内外から25万件以上あったことに対する本市の認識はどうか
  - イ 令和4年度に市場参入するに当たり、本市は県及び関係機関等と連携してどのような戦略を立てていくのか
  - ウ 作付面積の配分や取り組み方法などについては、県から本市に対してどのような説明がなされたのか

3 消防について

- (1) 秋田市消防団の現状における年齢構成及び適正な団員数をどのように考えているのか
- (2) 同団において、機能別団員の1号団員は重要な役割を担っていることから、その任期を5年以上に引き上げるよう、要綱の見直しを検討すべきではないか

- (3) 能代市で発生した住宅火災の消火活動中の事故を受け、警防活動時の職員の安全確保についてどのような取り組みを行っているのか
- (4) 今後、天候に左右されないような常時訓練ができる施設等の整備を検討してはどうか

#### 4 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 「イオン外旭川開発計画を活かし秋田の再生を進める民間有志の会」が各種効果をシンクタンクに調査依頼し、その報告書をまとめて作成したダイジェスト版である「イオン外旭川開発計画が地域にもたらす経済波及効果（推計）」をどのようにとらえているのか
- (2) 近年、秋田駅周辺においてさまざまな中心市街地活性化の取り組みが行われているが、令和3年の泉外旭川駅開業に伴い利便性が向上することを契機に、外旭川地区等の活性化の起爆剤となるような計画を検討すべきと思うがどうか
- (3) 外旭川複合施設構想等について
  - ア イオンタウン株式会社が提案している同構想の実現により、本市にもたらす経済効果をどのように考えているのか
  - イ 新スタジアム整備について、「今はコロナでそれどころではない」という知事の発言が報道されたが、この発言を市長はどのように考えているのか
  - ウ 次期総合計画の策定に当たり、卸売市場の建てかえ、新スタジアム整備及び同構想のかかわりをどのように考えているのか
  - エ 同構想を受け入れた上で、新スタジアム整備に取り組んでいくことはできないか
- (4) 市長は、外旭川地区のまちづくりをどのように考えているのか

#### 5 人口減少対策について

- (1) 国立社会保障・人口問題研究所において、本市人口が令和22年に約24万5,000人になると推計されたことをどのように受けとめているのか

- (2) 出生率を上げるため、第1子100万円、第2子以降30万円の出生祝い金を給付するなど、大胆かつ効果的な施策の実施を検討すべきと思うかどうか
- (3) 県外への転出に歯どめをかけることに全県一丸となって取り組むため、市長が県内の全市町村長に呼びかけ、「秋田にとどまる協議会」を立ち上げてはどうか

## 6 油谷これくしょんについて

- (1) 油谷これくしょんの貸し出しと活用状況はどうか
- (2) 油谷これくしょんが展示されている旧金足東小学校への年度別来場者数はどのように推移しているのか、また、金足地区住民とのイベント等を企画・運営してきた結果、具体的な成果はあったのか
- (3) 油谷これくしょん活用推進事業について、本市では事業目的及び事業内容をどのように考えて委託しているのか、また、事業報告等で委託業務の適切な履行を確認しているといった答弁をしているが、その確認はどのような基準で判断しているのか
- (4) 同事業の委託先であるNPO法人は賛助会員から加盟料1万5,000円を徴収した上で収集品を貸し出しているようだが、同事業の事業内容と密接にかかわりがあることから、賛助会員の募集方法や加盟料と、賛助会員への収集品の貸し出し状況を把握すべきと思うかどうか
- (5) 来年度以降も同事業は継続する考えなのか、また、これまでの同事業における費用対効果をどうとらえ、今後の事業成果をどのように見込んでいるのか
- (6) 油谷これくしょんの利活用は、現状どおりでよいと考えているのか



1 総合計画について

- (1) 数ある総合計画を統合した、わかりやすい「総合」計画とすべきではないか
- (2) 次期総合計画を策定する上で、道州制についてどのように考えているのか

2 穂積市政について

- (1) これまで支えてきた穂積市政に対する、副市長の思いはどうか

3 市民の健康について

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ア ウイルスの減少と不活性化に効果があるとされる深紫外線LEDを活用した装置を、市立秋田総合病院など要所要所に備えつけるような施策をとるべきではないか
- イ 家族が首都圏等から帰省した要介護者が2週間介護サービスを受けられない、いわゆる「2週間縛り」の対応は行わないこと及び介護事業の適切なサービスの継続的な提供について、広報あきた等で周知すべきではないか

- (2) 特定健康診査や各種がん検診の受診傾向及び対策の具体はどうか、また、民間と協同して市民の健康増進に邁進すべきではないか

4 外旭川複合施設構想について

- (1) 同構想の実現に向けた市長の考えはどうか

5 農政について

- (1) 秋田農産新御三家といえる、シイタケ・エダマメ・ネギについて、今後の本市の戦略はどうか
- (2) シイタケ・エダマメ・ネギの6次産業化に向けた本市の動向はどう

か

- (3) 本市の自然農法に関する施策はどうか
- (4) 本市の発酵文化をさらに応援すべきではないか
- (5) 本市も衛星写真を活用してA I が耕作放棄地を判定するアプリを採用し、耕作放棄地等の把握の実証をすべきではないか

## 6 災害への備えについて

- (1) 本市も災害ハザードマップ情報を一冊にまとめ、全戸配布すべきではないか

## 7 救急体制について

- (1) 本市もA I による救急相談を行うべきではないか

## 8 学校環境について

- (1) 体育（運動）着、上履き及び制服は市内統一とすべきではないか、また、さまざまな文具等も可能なものは統一すべきではないか

## 9 市が発行する冊子等について

- (1) 本市がかかわるガイドブックや冊子等をすぐに渡せる総合窓口体制にすべきと思うがどうか

## 10 本市のP Rについて

- (1) 新「秋田市ふるさと名所百景」を企画すべきではないか
- (2) 秋田市公式インスタグラムの素材を有効活用し、本市の魅力をさらにP Rすべきではないか

1 本市における新型コロナウイルス感染症への対応について

(1) 本市経済の活性化策について

ア 地域経済を支えるため、今後、第2弾、第3弾の追加支援策を実施すべきと思うが、どのように考えているのか

イ 市民の消費喚起と地元事業者への支援を目的として、本市独自のプレミアム付き商品券事業を実施すべきと思うがどうか

(2) 第14次秋田市総合計画の策定について

ア 同計画の策定を1年間延期してはどうか

(3) 財政について

ア コロナ禍のもと、今後、どのような考え方に基づいて予算執行していくのか

イ 今後策定する秋田市中・長期財政見通しは、内容の大幅な見直しが必要になると思われるが、本市の財政を維持していくに当たっての考えはどうか

(4) 移住・定住について

ア コロナ禍により、テレワークなどの実現を移住・定住促進のチャンスととらえ、ターゲットの絞り込みや補助金の拡充などにより、さらに効果が上がるよう取り組むべきと思うがどうか

(5) 危機管理体制について

ア 危機管理監を初めとした危機管理を職務遂行する部門を、新たに設置してはどうか